

第 64 回日本救急医学会関東地方会幹事会

2014 年 2 月 1 日 (土) 12 : 00 ~ 13 : 00

会場 : パシフィコ横浜 会議センター 501 号室 第 3 会場

議事録署名人の確認

新幹事推薦 (資料①)

森村常任幹事長

報告事項

1. 庶務報告 (資料②) 藤島常任幹事
2. 各常任幹事担当報告
 - ① 看護部会 (資料③) 三宅常任幹事
 - ② 救急隊員部会 (資料④) 松田常任幹事
 - ③ SOS-KANTO 委員会 (資料⑤) 矢口常任幹事
 - ④ 編集委員会 (資料⑥) 森村常任幹事
 - ⑤ ホームページ (資料⑦) 田中常任幹事
3. 第 64 回日本救急医学会関東地方会報告 兼坂会長
4. 第 65 回日本救急医学会関東地方会
準備状況報告 (資料⑧) 猪口次期会長

審議事項

1. 2013 年度決算報告 (資料⑨) 藤島常任幹事
2. 2014 年度予算について (資料⑩) 藤島常任幹事
3. 名誉会員の推戴について (資料⑪) 森村常任幹事長
4. 次々期会長について (資料⑫) 森村常任幹事長
5. SOS-KANTO 委員会次期委員長について 矢口常任幹事
6. 新規常設委員会について (資料⑬) 森村常任幹事長
7. 日本救急医学会評議員推薦について 森村常任幹事長

新幹事候補者リスト		
	新幹事候補者名	所属
1	はやの だいすけ 早野 大輔	日本赤十字社医療センター 救急科
	推薦者： 林 宗博 木村 一隆	日本赤十字社医療センター 日本赤十字社医療センター
2	みやもと かずゆき 宮本 和幸	東京労災病院 救急科
	推薦者： 有賀 徹 田中 幸太郎	昭和大学 医学部 救急医学講座 東京労災病院 救急科
3	なかえ りゅうた 中江 竜太	川口市立医療センター 救命救急センター
	推薦者： 直江 康孝 横田 裕行	川口市立医療センター 日本医科大学救急医学
4	たけもと まさあき 竹本 正明	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 救急科
	推薦者： 阪本 敏久 田中 裕	防衛医科大学校 病院 救急部 順天堂大学浦安病院 救急診療科
5	なかた かずゆき 中田 一之	埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター
	推薦者： 杉山 聡 澤野 誠	埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター
6	ふくだ たつま 福田 龍将	東京大学大学院医学系研究科 救急医学
	推薦者： 世良 俊樹 木村 一隆	東京医科歯科大学附属病院 日本赤十字社医療センター
7	はしぐち なおゆき 橋口 尚幸	順天堂大学医学部附属順天堂医院 順天堂大学医学部救急災害医学
	推薦者： 射場 敏明 田中 裕	順天堂大学救急災害医学 順天堂大学救急災害医学
8	えんどう ひろふみ 遠藤 広史	日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター
	推薦者： 松田 潔 横田 裕行	日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター 日本医科大学付属病院 高度救命救急センター

9	ごとう ひであき 後藤 英昭	都立広尾病院 救命救急センター
	推薦者：佐々木 勝 山口 芳裕	都立広尾病院 杏林大学救急医学
10	なかや のぶあき 中谷 宣章	慶応義塾大学病院 救急科
	推薦者：堀 進悟 佐々木 淳一	慶応義塾大学医学部 慶応義塾大学医学部
11	いのくち こういち 井口 浩一	埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター
	推薦者：堤 晴彦 杉山 聡	埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター
12	やまざき さなえ 山崎 早苗	東海大学医学部附属病院 高度救命救急センター
	推薦者：猪口 貞樹 高沢 研丞	東海大学医学部外科学系救命救急医学 東海大学医学部外科学系救命救急医学
13	さとう ゆきお 佐藤 幸男	慶応義塾大学病院 救急科
	推薦者：堀 進悟 鈴木 昌	慶応義塾大学病院 救急科 慶応義塾大学病院 救急科
14	せきい はじめ 関井 肇	順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科
	推薦者：杉田 学 野村 智久	順天堂大学練馬病院 順天堂大学練馬病院
15	まつもと じゅん 松本 順	横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター
	推薦者：森村 尚登 高橋 耕平	横浜市立大学 高度救命救急センター 横浜南共済病院 救急科
16	なかじま やすし 中島 康	都立広尾病院 救命救急センター
	推薦者：佐々木 勝 山口 芳裕	都立広尾病院 杏林大学 救急医学

	申請日	職種	敬称	氏名	ふりがな	所属先	入会日	年会費	申請書	推薦人1		推薦人2		業績(1)	業績(2)	添付書類
1	11月18日	医師	先生	早野 大輔	はやの だいすけ	日本赤十字社医療センター 救急科	2007.6.8	完納	○	林 宗博	幹事	木村 一隆	幹事	○	○	○
2	11月26日	医師	先生	宮本 和幸	みやもと かずゆき	東京労災病院 救急科	2009.2.7	完納	○	有賀 徹	幹事	田中 幸太郎	幹事	○	○	○
3	12月3日	医師	先生	中江 竜太	なかえ りゅうた	川口市立医療センター 救命救急センター	2006.1.13	完納	○	直江 康孝	幹事	横田 裕行	幹事	○	○	○
4	12月5日	医師	先生	竹本 正明	たけもと まさあき	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共催病院 救急科	2008.2.9	完納	○	阪本 敏久	幹事	田中 裕	幹事	○	○	○
5	12月9日	医師	先生	中田 一之	なかた かずゆき	埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター	2007.12.5	完納	○	杉山 聡	幹事	澤野 誠	幹事	○	○	○
6	12月5日	医師	先生	福田 龍将	ふくだ たつま	東京大学大学院医学系研究科 救急医学	2010.2.6	完納	○	世良 俊樹	幹事	木村 一隆	幹事	○	○	
7	12月17日	医師	先生	橋口 尚幸	はしぐち なおゆき	順天堂大学医学部附属順天堂医院 順天堂大学医学部救急科	2005.10	完納	○	射場 敏明	幹事	田中 裕	幹事	○	○	
8	12月25日	医師	先生	遠藤 広史	えんどう ひろふみ	日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター	2009.1.1	完納	○	松田 潔	幹事	横田 裕行	幹事	○	○	
9	12月19日	医師	先生	後藤 英昭	ごとう ひであき	都立広尾病院 救命救急センター	2008.3.21	完納	○	佐々木 勝	幹事	山口 芳裕	幹事	○	○	
10	12月25日	医師	先生	中谷 宣章	なかや のぶあき	慶応義塾大学病院 救急科	2005.10	完納	○	堀 進悟	幹事	佐々木 淳一	幹事	○	○	
11	1月5日	医師	先生	井口 浩一	いのくち こういち	埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター	2008.2.9	完納	○	堤 晴彦	幹事	杉山 聡	幹事	○	○	
12	1月6日	看護師	様	山崎 早苗	やまざき さなえ	東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター	2005年	完納	○	猪口 貞樹	幹事	高沢 研丞	幹事	○	○	
13	1月6日	医師	先生	佐藤 幸男	さとう ゆきお	慶応義塾大学病院 救急科	2004年	完納	○	堀 進悟	幹事	鈴木 昌	幹事	○	○	
14	1月6日	医師	先生	関井 肇	せきい はじめ	順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科	2009.4.7	完納	○	杉田 学	幹事	野村 智久	幹事	○	○	
15	1月6日	医師	先生	松本 順	まつもと じゅん	横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター	2007.2.3	完納	○	森村 尚登	幹事	高橋 耕平	幹事	○	○	

2013 年度 庶務報告

(2013 年 12 月 31 日現在)

総会員数 :	1170 名	(新会員 198 名)
幹事	307 名	(新幹事* ¹ 20 名)
名誉	37 名	
一般 (医師)	616 名	(新会員 130 名)
一般 (看護師)	171 名	(新会員 53 名)
一般 (救急救命士)	5 名	(新会員 5 名)
一般 (薬剤師)	1 名	(新会員 1 名)
一般 (その他)	22 名	(新会員 4 名)
一般 (不明)	11 名	(新会員 3 名)

*¹2013 年 2 月 16 日幹事会承認

退会者数 : 124 名 (うち 98 名は会費滞納による自然退会)

名誉	1 名
幹事	5 名
一般 (医師)	75 名
一般 (看護師)	34 名
一般 (救急救命士)	1 名
一般 (薬剤師)	1 名
一般 (不明)	7 名

会員のご逝去 2 名

針谷 英世 先生 (はりがや ひでよ) 名誉会員 2013 年 12 月 19 日ご逝去

佐藤 偕男 先生 (さとう ともお) 会員 2013 年 2 月 1 日ご逝去

日本救急医学会関東地方会 看護部会報告

■運営委員会

	担当者名	施設名
担当常任幹事	三宅 康史	昭和大学医学部 救急医学
委員長	佐藤 憲明	日本医科大学附属病院
副委員長	浅香 えみ子	獨協医科大学越谷病院
運営委員	木澤 晃代	筑波メディカルセンター病院
運営委員	黒田 啓子	東海大学医学部付属病院
運営委員	鴫田 猛	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
運営委員	藤野 智子	聖マリアンナ医科大学病院
運営委員	横田 由佳	杏林大学医学部附属病院

■施設代表者会施設代表者

多田 昌代（小田原市立病院），小暮亜由美（川口市立医療センター），神山由美子（川崎市立川崎病院），馬野 由紀（川崎市立多摩病院），山崎 法子（慶応義塾大学病院），中村香代（国立国際医療研究センター），直井みつえ（済生会宇都宮病院），染谷 泰子（JA とりで総合医療センター），谷島 雅子（自治医科大学附属病院），青木 梢（順天堂大学医学部附属練馬病院），小林 恭代（昭和大学藤が丘病院），太田 直美（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院），田村富美子（聖路加国際病院），加藤 弘美（千葉県救急医療センター），上野 博章（千葉大学医学部附属病院），山下 直美（東京医科歯科大学医学部附属病院），佐伯 悦彦（東京医科大学病院 救命救急センター），加藤ゆみ子（独立行政法人国立病院機構水戸医療センター），小笠原由佳（東海大学医学部付属八王子病院），富士田恭子（東京慈恵会医科大学附属柏病院），白石 浩子（獨協医科大学病院），森田 千秋（成田赤十字病院），門馬 治（日本医科大学武蔵小杉病院），岩田 悦子（日本赤十字社医療センター），西尾 治美（日本大学医学部附属板橋病院救命救急センター），小池 伸享（前橋赤十字病院高度救命救急センター），西塔依久美（武蔵野赤十字病院），合口 美幸（横浜市立市民病院），鈴木久美子（横浜市立大学附属市民総合医療センター），杉本 尚子（東京都立広尾病院），平山 幸枝（帝京大学医学部附属病院），山田 利幸（総合病院国保旭中央病院），山野辺みち子（北里大学病院），平井 優美（東京大学医学部附属病院），奈良唯唯子（湘南鎌倉総合病院），三浦 まき（昭和大学病院），

日本救急医学会関東地方会救急隊員部会活動報告

平成 26 年 2 月 1 日

救急隊員部会担当常任幹事 松田潔

救急隊員学術研究会世話人会 2013 年 7 月 8 日

1. 第 51 回救急隊員学術研究会

第 64 回日本救急医学会関東地方会と同日、同会場、共通プログラムで開催。開催地事務局は、横浜市消防局。

例年 1000 名の救急隊員の参加者があるが、救急隊員向けのプログラム会場は定員 430 名を用意。例年通り開催案内を消防組織に送付する予定。来場した救急隊員は、他の会場への参加を促す。

2. 第 52 回救急隊員学術研究会

第 65 回日本救急医学会関東地方会会長は東海大学猪口先生なので、従来は開催地事務局は東海大学の所在地である伊勢原市消防本部になるべきところだが、湘南メディカルコントロール協議会として事務局を引き受けられないか、提案があった。

全国消防長会関東支部事務局（横浜市消防局）でサポートを行っていくので、従来通り、伊勢原市消防本部に開催地事務局をお願いすることとなった。

第 51 回同様に第 52 回も会場はパシフィコ横浜で、第 65 回日本救急医学会関東地方会と同日同会場開催となる見込みである。

SOS-KANTO 委員会報告

平成 26 年 2 月 1 日

SOS-KANTO 担当常任幹事 矢口 有乃

1. 2013 年会議開催報告

①全体会議 3 回開催

第 1 回全体会議 2 月 16 日 (土) 帝京大学板橋キャンパス

第 2 回全体会議 7 月 12 日 (金) 東京国際フォーラム

第 3 回全体会議 10 月 22 日 (火) 東京国際フォーラム

②SOS-KANTO 運営小委員会 4 回開催

第 1 回運営小委員会 5 月 8 日 (金) 株へるす出版事業部会議室

第 2 回運営小委員会 7 月 5 日 (金) 株へるす出版事業部会議室

第 3 回運営小委員会 10 月 11 日 (金) 株へるす出版事業部会議室

第 4 回運営小委員会 12 月 18 日 (水) 株へるす出版事業部会議室

③SOS-KANTO データクレンジング会議 2 回開催

第 1 回データクレンジング会議 6 月 27 日 (木) 株へるす出版事業部会議室

第 2 回データクレンジング会議 9 月 12 日 (木) 株へるす出版事業部会議室

2. 参加施設数 67 施設3. データ集積状況 17,096 例

4. 解析テーマ

解析班	GROUP および内容	テーマ数
1	Assessment Guidelines (G 2000 versus G2010) Group (SOS-KANTO Study 10 年間の比較)	7
2	Pre-hospital Care Group (市民応急手当、口頭指導、消防機関救命処置、院外救急医療活動)	26
3	In-hospital Care Group (病院収容後救命処置)	21
4	Post Cardiac Arrest Care Group (心停止後症候群、蘇生後集中治療)	44
5	VF Group (VF 症例全般：背景因子から治療戦略)	8
6	Non-Shockable and/or Non-Cardiac Group (VF 以外の症例、非心原性疾患、心原性と非心原性)	11
7	Regional System Group (救急システム：発生場所、地域差、施設、勤務時間帯)	20
8	Outcome Prediction Group (予後予測、蘇生中止基準、採血データ、背景因子)	25

9	Paediatric Resuscitation Study group: PResS (小児解析全般)	13
10	Termination of Resuscitation(TOR) Group(蘇生中止基準)	12

合計 186 テーマ

5. 中間解析報告演題発表・登録数 48 演題

以上

『日本救急医学会関東地方会雑誌』第34巻2号 現状報告

2014年2月1日
編集委員長 森村尚登

1) 投稿論文数

全投稿数：92本

〔医師部会：70本（うち1本は過去に発表された演題の論文）、看護部会：21本、救急隊員学術研究会：1本〕

	論文数	備考
2013年学会全発表数	287件 〔医師部会：237件、 看護部会：37件、救急隊員学術研究会： 13件〕	投稿率：31.7%
辞退	1本	
未着	194本	
2013年発表論文投稿数	91本 (医師部会：69本、看護部会：21本、 救急隊員学術研究会：1本)	

【参考：投稿率の推移について】

	2007年 28巻	2008年 29巻	2009年 30巻	2010年 31巻	2011年 32巻	2012年 33巻
学会発表数	230	211	212	193	213	280
辞退・未着	155	116	123	101	132	182
投稿数	75	95	89	92	81	93
投稿率	32.6%	45.0%	42.0%	47.7%	38.0%	33.2%

2) 掲載論文数

	論文数
掲載論文数	90本 (医師部会：69本、看護部会：21本、 救急隊員学術研究会：0本)
査読継続	1本（救急隊員学術研究会）
投稿辞退	1本（医師部会）
論文受理率	97.8%

3) 広告数

3社（広告依頼数 全 24社）
（旭化成ファーマ，CSL ベーリング，第一三共）

4) 編集スケジュール

2月16日～	論文投稿受付。
3月15日	医師部会・看護部会の発表者に対し督促。
7月	各編集委員による投稿論文の査読。
8月20日	第一回編集委員会開催。論文の採択および修正点を審議。
8月22日	第二回編集委員会開催。論文の採択および修正点を審議。
8月28日	第三回編集委員会開催。論文の採択および修正点を審議。
8月29日	第四回編集委員会開催。論文の採択および修正点を審議。
9月上旬	編集委員によって査読が行われた論文を著者に戻し，リライトを依頼。
9月末	著者校正締切。
10月	リライトが届いていない論文について督促。編集委員による再査読。
11月	編集委員による再査読。執筆者による再リライト。
12月上旬	責了。
12月末	納品，発送

5) SOS-KANTO 各解析班活動状況報告の掲載について

SOS-KANTO 運営小委員会より、『日本救急医学会関東地方会雑誌』第34巻2号にSOS-KANTO 各解析班の活動状況報告を掲載することが提案された。常任幹事会による承認後，各解析班班長に執筆を依頼し，掲載した。

以上

日本救急医学会関東地方会ホームページ報告

2014年2月1日

ホームページ担当常任幹事 田中 裕

1. ホームページ更新情報について

委託先：京葉コンピューターサービス

【2013年1月】

- ・ SOS-KANTO 2012 全体会議のお知らせを掲載 (13.01.28)
- ・ SOS-KANTO を更新 (13.01.28)

【2013年2月】

- ・ 役員一覧・学術集会のお知らせ・SOS-KANTO を更新 (13.02.26)

【2013年3月】

- ・ SOS-KANTO を更新 (13.03.15)

【2013年4月】

- ・ 『日本救急医学会関東地方会雑誌』奥付をダウンロード形式にて掲載 (13.04.3)

【2013年6月】

- ・ SOS-KANTO を更新 (13.06.04)
- ・ 学術集会のお知らせを更新 (13.06.06)
- ・ SOS-KANTO を更新 (13.06.19)
- ・ 学術集会のお知らせを更新 (13.06.25)

【2013年7月】

- ・ SOS-KANTO を更新しました。 (13.07.11)
- ・ SOS-KANTO を更新しました。 (13.07.22)

【2013年8月】

- ・ SOS-KANTO を更新しました。 (13.08.26)

【2013年9月】

- ・ 幹事名簿および学術集会のお知らせを更新 (13.09.03)

【2013年10月】

- ・ SOS-KANTO を更新 (13.10.09)

以上



第 65 回日本救急医学会関東地方会

同時開催 第52回 救急隊員学術研究会

会期 2015 年 2 月 7 日 (土)
会場 パシフィコ横浜 会議センター
会長 猪口貞樹 (東海大学医学部外科学系救命救急医学)

テーマ みんなで支える救急医療
～地域医療再編への Key～

特別講演 「臨床研究における多変量解析」

講師：新谷 歩 先生
ヴァンダービルト大学准教授・医療統計学

事務局 東海大学医学部外科学系救命救急医学内
(事務局長 中川 儀英)
〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 143
TEL : 0463-93-1121 (内線 6771、6778)
FAX : 0463-95-5337
E-mail : gqkanto65-office@umin.ac.jp



伊勢原市後援

日本救急医学会関東地方会 2013年度決算報告書
(2013年1月1日～2013年12月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
会費収入	6,300,000	6,675,000	375,000	幹事：10,000円・一般：5,000円
当年度・過年度収入		6,590,000		
前受会費収入		85,000		
雑収入	350,200	1,396,000	1,045,800	
広告掲載料	250,000	150,000	△ 100,000	34巻
銀行預金利息	200	100	△ 100	
別刷代	100,000	45,000	△ 55,000	
地方会補助金		1,200,000	1,200,000	※日本救急医学会20万円、第63回残金返金100万円
その他		900	900	※JPTEC協議会・賞状ホルダー代金
収入合計	6,650,200	8,071,000	1,420,800	

【支出の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
事業費	8,414,855	9,814,635	△ 1,399,780	
刊行費(発送費を含む)	3,500,000	3,575,887	△ 75,887	33巻製作費(2012年12月発刊：3,401,118円)
地方会補助費	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	横浜労災病院
会議費	500,000	454,938	45,062	
常任幹事会		186,950		年2回開催
編集委員会		181,592		年2回開催
会計監査		12,715		
看護部会運営委員会		73,681		年2回開催
交通費	200,000	311,240	△ 111,240	
常任幹事会		58,000		
編集委員会		190,000		
事務局		5,240		
会計監査		8,000		
看護部会運営委員会		50,000		
印刷費	100,000	181,159	△ 81,159	事務局コピー代
ホームページ運営費	261,555	261,555	0	21,000円×12ヵ月+ドメイン管理費
SOS-KANTO 2012	1,853,300	2,829,856	△ 976,556	
会議費	170,000	127,214		
交通費	114,000	200,000		
印刷費	2,000	0		
通信費	34,300	27,909		
消耗品費	3,000	0		
業務委託費	1,530,000	2,374,733		
データ作成費	0	0		
データ処理費	0	100,000		
事務費	1,002,000	1,051,224	△ 49,224	
通信費	250,000	282,775	△ 32,775	
切手代		36,310		
宅配便代		8,488		
その他発送費		237,977		
業務委託費	672,000	672,000	0	委託先：(株)へるす出版事業部
消耗品費	50,000	84,879	△ 34,879	
租税公課	20,000	0	20,000	
振込手数料	10,000	11,570	△ 1,570	
予備費	50,000	0	50,000	
支出合計	9,466,855	10,865,859	△ 1,399,004	
収支	-2,816,655	-2,794,859	21,796	
前年度(2012年)繰越金	16,486,355	16,486,355		
次年度(2014年)繰越金	13,669,700	13,691,496		

監査報告書

日本救急医学会関東地方会の2013年度(2013年1月1日～2013年12月31日)における収支計算書、およびそれに付随する諸帳簿について必要な監査手続きを実施した結果、2013年度の経営状況を適正に表現しており、かつ会計手続きに不正のないことを認める。

以上

2014年1月17日

日本救急医学会関東地方会

監事 坂本哲世 

監事 山口芳裕 

資料

日本救急医学会関東地方会 2014年度予算(案)
(2014年1月1日～2014年12月31日)

【収入の部】

科目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算
会費収入	6,300,000	6,675,000	6,650,000
雑収入			
広告掲載料	250,000	150,000	500,000
銀行預金利息	200	100	200
補助金	0	1,200,000	200,000
その他	100,000	45,900	100,000
収入合計	6,650,200	8,071,000	7,450,200

【支出の部】

科目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算
事業費			
刊行費(発送費を含む)	3,500,000	3,575,887	3,500,000
地方会補助費	2,000,000	2,200,000	2,200,000
会議費	500,000	454,938	1,100,000
交通費	200,000	311,240	500,000
印刷費	100,000	181,159	200,000
ホームページ運営費	261,555	261,555	261,555
SOS-KANTO 2012	1,853,300	2,829,856	280,000
事務費			
通信費	250,000	282,775	250,000
業務委託費	672,000	672,000	1,071,000
消耗品費	50,000	84,879	50,000
租税公課	20,000	0	20,000
振込手数料	10,000	11,570	10,000
予備費	50,000	0	50,000
支出合計	9,466,855	10,865,859	9,492,555
収支	-2,816,655	-2,794,859	-2,042,355
前年度繰越金	16,486,355	16,486,355	13,691,496
次年度繰越金	13,669,700	13,691,496	11,649,141

日本救急医学会関東地方会 2014年度予算(案)
(2014年1月1日～2014年12月31日)

【収入の部】

科目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算
会費収入	6,300,000	6,675,000	6,650,000
雑収入			
広告掲載料	250,000	150,000	500,000
銀行預金利息	200	100	200
補助金	0	1,200,000	200,000
その他	100,000	45,900	100,000
収入合計	6,650,200	8,071,000	7,450,200

【支出の部】

科目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算
事業費			
刊行費(発送費を含む)	3,500,000	3,575,887	3,500,000
地方会補助費	2,000,000	2,200,000	2,200,000
会議費	500,000	454,938	1,100,000
交通費	200,000	311,240	500,000
印刷費	100,000	181,159	200,000
ホームページ運営費	261,555	261,555	261,555
SOS-KANTO 2012	1,853,300	2,829,856	280,000
事務費			
通信費	250,000	282,775	250,000
業務委託費	672,000	672,000	1,071,000
消耗品費	50,000	84,879	50,000
租税公課	20,000	0	20,000
振込手数料	10,000	11,570	10,000
予備費	50,000	0	50,000
支出合計	9,466,855	10,865,859	9,492,555
収支	-2,816,655	-2,794,859	-2,042,355
前年度繰越金	16,486,355	16,486,355	13,691,496
次年度繰越金	13,669,700	13,691,496	11,649,141

名誉会員の推戴について

平成 26 年（第 64 回日本救急医学会関東地方会）幹事会 名誉会員候補者
(敬称略 五十音順)

長尾 建	平成 22 年 第 60 回会長	駿河台日本大学病院 循環器科
益子 邦洋	平成 17 年 第 55 回会長	日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター

日本救急医学会関東地方会会則 (抜粋)

第 3 章 会員

(構成)

第 5 条 本会は、次の会員によって構成する。

- (2) 名誉会員：本会の発展に特に功労のあった者で、別に定める細則により推薦され、承認された者

日本救急医学会関東地方会会則施行細則 (抜粋)

第 5 章 名誉会員

第 21 条 名誉会員は、常任幹事が推薦し、幹事会の承認を要する。

第 22 条 名誉会員は、幹事会に出席し、意見を述べるができるが、議決に加わることは出来ない。

2 名誉会員の推戴要件は、以下の通りとする。

- (1) 役員経験者であること
- (2) 65 歳以上であること
- (3) 本人に名誉会員となる意思があること

日本救急医学会関東地方会 歴代会長 一覧

	会期年月	会長	所属
第1回	S51(1976)年4月	故 織畑 秀夫	東京女子医科大学
第2回	S52(1977)年2月	故 大内 正夫	済生会神奈川県病院
第3回	S52(1977)年6月	故 飯島 登	聖マリアンナ医科大学
第4回	S53(1978)年2月	故 丹羽 直久	武蔵野赤十字病院
第5回	S53(1978)年6月	西邑 信男	日本医科大学
第6回	S54(1979)年2月	佐々木 仁也	都立墨東病院
第7回	S54(1979)年6月	故 亀谷 寿彦	東邦大学
第8回	S55(1980)年2月	故 若林 利重	東京警察病院
第9回	S55(1980)年6月	故 田中 隆	日本大学駿河台病院
第10回	S56(1981)年2月	故 泉 周雄	国立東京第二病院
第11回	S56(1981)年6月	大和田 隆	北里大学
第12回	S57(1982)年2月	野口 照義	千葉県救急医療センター
第13回	S57(1982)年6月	松田 博青	杏林大学
第14回	S58(1983)年2月	故 渡辺 晃	国立水戸病院
第15回	S58(1983)年6月	石田 清	埼玉医科大学
第16回	S59(1984)年2月	故 矢沢 知海	都立広尾病院
第17回	S59(1984)年6月	都築 正和	東京大学
第18回	S60(1985)年2月	故 大島 武雄	伊勢崎総合保健センター
第19回	S60(1985)年6月	故 大塚 敏文	日本医科大学
第20回	S61(1986)年2月	梅園 明	済生会宇都宮病院
第21回	S61(1986)年6月	小林 國男	帝京大学
第22回	S62(1987)年2月	故 高橋 勝三	武蔵野赤十字病院
第23回	S62(1987)年6月	故 八木 義弘	順天堂大学浦安病院
第24回	S63(1988)年2月	針谷 英世	大宮赤十字病院
第25回	S63(1988)年6月	芦川 和高	聖マリアンナ医科大学
第26回	H1(1989)年2月	中田 義隆	筑波メディカルセンター
第27回	H1(1989)年6月	故 三村 一夫	防衛医科大学校
第28回	H2(1990)年2月	荒木 駿二	公立昭和病院
第29回	H2(1990)年6月	故 上嶋 権兵衛	東邦大学
第30回	H3(1991)年2月	山本 修三	済生会神奈川県病院
第31回	H3(1991)年6月	平澤 博之	千葉大学
第32回	H4(1992)年2月	故 村松 正久	江東病院
第33回	H4(1992)年6月	高橋 愛樹	昭和大学藤が丘病院
第34回	H5(1993)年2月	島崎 修次	杏林大学
第35回	H5(1993)年6月	小池 莊介	東京医科大学

	会期年月	会長	所属
第36回	H6(1994)年2月	故 隣谷 義人	埼玉医科大学
第37回	H6(1994)年6月	上田 守三	東海大学
第38回	H7(1995)年2月	矢崎 誠治	日本大学駿河台病院
第39回	H7(1995)年7月	杉山 貢	横浜市立大学
第40回	H8(1996)年2月	鈴木 忠	東京女子医科大学
第41回	H8(1996)年6月	故 中村 紀夫	東京慈恵会医科大学柏病院
第42回	H9(1997)年2月	前川 和彦	東京大学
第43回	H9(1997)年6月	相川 直樹	慶應義塾大学
第44回	H10(1998)年2月	故 岡田 芳明	防衛医科大学校
第45回	H10(1998)年6月	故 相馬 哲夫	東京医科大学霞ヶ浦病院
第46回	H11(1999)年2月	山中 郁男	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
第47回	H11(1999)年6月	辺見 弘	国立病院機構東京災害医療センター
第48回	H12(2000)年2月	林 成之	日本大学
第49回	H12(2000)年6月	山本 保博	日本医科大学
第50回	H13(2001)年2月	市来 崙 潔	国立病院機構東京医療センター
第51回	H13(2001)年6月	饗場 庄一	前橋赤十字病院
第52回	H14(2002)年2月	黒川 顯	日本医科大学多摩永山病院
第53回	H15(2003)年2月	葛西 猛	亀田総合病院
第54回	H16(2004)年3月	有賀 徹	昭和大学
第55回	H17(2005)年2月	益子 邦洋	日本医科大学千葉北総病院
第56回	H18(2006)年2月	大橋 教良	筑波メディカルセンター
第57回	H19(2007)年2月	明石 勝也	聖マリアンナ医科大学
第58回	H20(2008)年2月	堤 晴彦	埼玉医科大学
第59回	H21(2009)年2月	行岡 哲男	東京医科大学
第60回	H22(2010)年2月	長尾 建	駿河台日本大学
第61回	H23(2011)年2月	相馬 一亥	北里大学
第62回	H24(2012)年2月	堀 進悟	慶應義塾大学
第63回	H25(2013)年2月	坂本 哲也	帝京大学
第64回	H26(2014)年2月	兼坂 茂	横浜労災病院
第65回	H27(2015)年2月	猪口貞樹	東海大学
第66回	H28(2016)年		

新規常設委員会設置の提案

日本救急医学会関東地方会常任幹事長
森村尚登

本学会は「関東地方の救急医学の進歩発展を図り、救急医学の普及に貢献することを目的（会則第3条抜粋）」とし、これを達成するために、学術集会の開催、機関誌の刊行、内外関連学術団体との連携および協力を行ってまいりました。さらに SOS-KANTO 委員会を常設し、心停止症例の集積に基づくデータ解析とエビデンス発信を行い、実績を重ねてまいりました。今回、関東地方の救急医学のさらなる質の向上と普及に貢献するために、以下の常設委員会の設置を提案いたします。

1. 多施設研究企画委員会（構成：医師部会・看護部会・救急隊員部会）

【目的】救急医学に関連するデータの多施設集積と、データ解析に基づくエビデンスの国内外への発信のための検討を行うこと。

今まで SOS-KANTO 委員会が、心停止を対象に多施設研究を実施してきましたが、他の救急医療領域においても多施設研究の企画、立案、実践を図る必要があります。

本委員会は次回の心停止症例集積研究も含めて包括的に多施設研究を検討していくものにしたいと思います。

常任幹事会の審議により、名称を「多施設研究企画委員会」とすることとされました。

2. 関東地方災害医療対応検討委員会（構成：医師部会・看護部会・救急部会）

【目的】関東地方の被災地域内災害医療対応の検討を行うこと。

首都直下地震等、関東地方が被災する大災害を想定した関連諸機関・団体の対応計画の骨子を共有し、連携の強化を図ることが不可欠です。本委員会は、様々な立場や視点からの対応計画の骨子の共有と連携強化を目指すものです。

常任幹事会の審議により、名称を「関東地方災害医療コーディネーター連絡会議」とすることとされました。

3. 関東メディカルコントロール（MC）協議会連絡会議（構成：医師部会・救急部会）

【目的】各地域の MC 協議会の取組みの共有を図り、問題点を検討すること。地域 MC 担当者による、現況の共有と問題点の検討、課題抽出、対策の提案等を行うものです。

以上